

マングローブと多様な生物：互恵的な物語

栄養豊富な土と水があるマングローブ林には多くの稚魚やかに、エビなどが集まってくる。

干潟にはつづ貝、ハゼやカニが見られる。カニは複雑な生態系を持つマングローブ林には不可欠な存在で、葉の残骸を巣穴に持ち込んで食べることにより、森を綺麗にし、重要な食糧も元が潮の流されないように防ぎ、葉を分解し、植物プランクトンの餌となる栄養分を作り出している。また、カニの幼生も魚の餌となっている。カニの巣穴は泥の中にあることによって、通気性を良くし、新鮮さを保つ。